

令和7年度 瑞穂市立中小学校
学校長の挨拶

令和7年度の中小学校は、新入生16人が新たに加わり、147人の児童でスタートしました。

子どもたちを取り巻く世界は激しい勢いで変化しています。将来、そんな大きく変化する社会の中でも活躍していけるような子どもたちを育てていきたい。そんな願いを具現するために、「生まれ育った岐阜や瑞穂に誇りをもち、その思いを土台にしながら、多様な価値観を理解し、自らの考えの根拠を明らかにした上で主張し、いろいろな考えと折り合いをつけながら自己決定して行動していける人間」を育てていきたいと考えています。

そのために、学校の教育目標「学び合う子 心豊かな子 元気な子」を掲げ、中小学校に通う全ての子どもたちが、うれしそうな顔、ワクワクした目をしながら学校に通えるようにしていきます。

今年度は、企業や高等専門学校、中保育所とコラボした探究的な学習、起震車体験などの防災学習など新しい学習や体験を多く計画しています。また、学校での表彰や、活躍できる場を多数位置付けていきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

お子様の学校生活に関わっては、1年間安心して仲間関係を築けるよう始業式で、3つの約束をしました。

- 1 一生懸命頑張っている子を全力で応援します。
- 2 いじめや差別など仲間の幸せを大切にしないことは許しません。
- 3 つらい思いをしている子を一人にはしません。

学校での困りごとがありましたら、どの職員でも管理職でも結構です。いつでもご相談ください。また、子育てに関しては、熱い願いや思いをもって子育てをされる中で、ともすると、「お子さんにこうなって欲しい」という強い願いが、とっさに暴力、言葉の暴力になってしまうことがあるかもしれません。でも、暴力や言葉の暴力では、真に子どもたちには願いは届きません。（法により、学校は、虐待と疑われる状況を知った場合は、すぐに（保護者に連絡することなく）、関係機関に連絡することが義務付けられています。）子育てに関しての悩み事も相談や外部機関への紹介もさせていただいております。いつでもご連絡ください。

瑞穂市立中小学校 校長 浅野竜也